

オンライン

住宅医 スクール

The projects of Architectural Pathologists 2022-02

住宅医の仕事紹介 2022-02

量から質へ。既存住宅に関する知識や技術が求められる時代です。
既存住宅の調査・診断から改修設計・施工・維持管理等ができる「住宅医」を育成するため、
今年も住宅医スクール2022(第13期)を開催しています。

「住宅医の仕事紹介」は、全国で活躍している住宅医の仕事を発表し合う場です。
2022年第2回は、大阪府、静岡県、岐阜県の3名の住宅医による仕事をご紹介します。

12/2 (金) 17:00~19:00

住宅医の仕事紹介 2022-02
オンライン開催 (ZOOM利用)



山崎健治
(有)こころ木造建築研究所
【静岡県】

『育まれてきた住まいのストーリーを大切に
～古民家ゲストハウス+母と暮らす実家』

住宅医スクールで学んだ知識や技術を活かして空家として地域に残されていた築80年程度の古民家をお茶の有機農業をされている方が購入し海外向けのゲストハウスに改修した事例と、都会から実家に戻り、改めて母と暮らすために各々の世代の生活スタイルに合わせて快適に暮らせるよう実家を改修した事例について、ご紹介します。



西恭利
西紋建匠(株)
【大阪府】

『今あるものを活かす建築技術者をめざして
～中古住宅の資産価値を高めるリノベ』

中古住宅を耐震断熱性能の向上を中心にリノベーションし、長期優良住宅の認定を取得することにより資産価値を高め、評価する取り組みについて、また、自邸兼事務所として、同じく中古住宅をZEH住宅にリノベーションして地域拠点とすることで、エリアリノベーションを行っている取り組みについて、ご紹介します。



中島昭之
一般社団法人インク
【岐阜県】

『空き家の利活用と建物調査
～住宅医の調査から提案・改修まで』

人口減少等により地方(田舎)で問題になっている空き家。最近では都会からの移住者や市町村による空き家の活用事例も増えています。地域資源である空き家の活用方法を提案するため、状態を的確に把握する住宅医の建物調査を活用しています。主に活動している美濃市を中心に、調査→提案→改修と進んだ事例を数件ご紹介します。

対象者 どなたでもご参加いただけます (※ZOOMを用いたオンライン形式でご参加頂きます)

定員 100名程度

参加費 無料

参加申込 一般社団法人住宅医協会ホームページ <申込フォーム> よりお申込みください。

申込締切 2022年11月30日(水)

主催 一般社団法人住宅医協会



【申込URL】<https://sajp.or.jp/skillup20221202/>